

# 令和元年度学校評価の結果と分析

大井小学校評価委員会  
令和元年12月調査 回収率93%

## 1 本年度の重点努力目標について

ア 学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の充実を図る。 「おおいに学び合い」

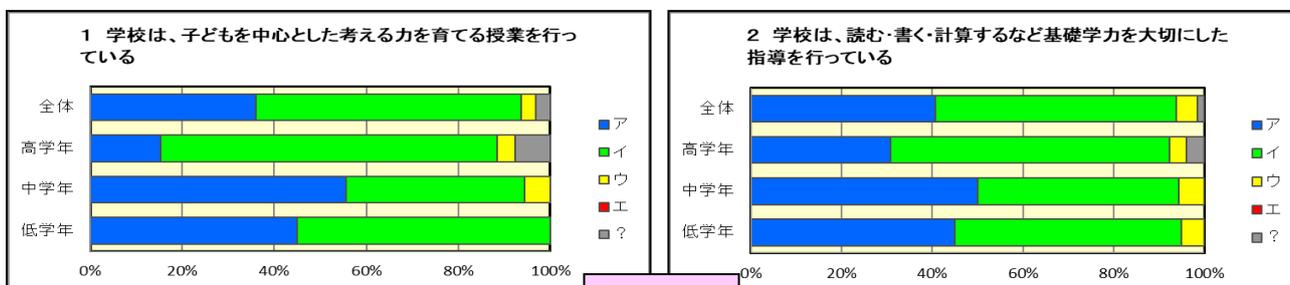
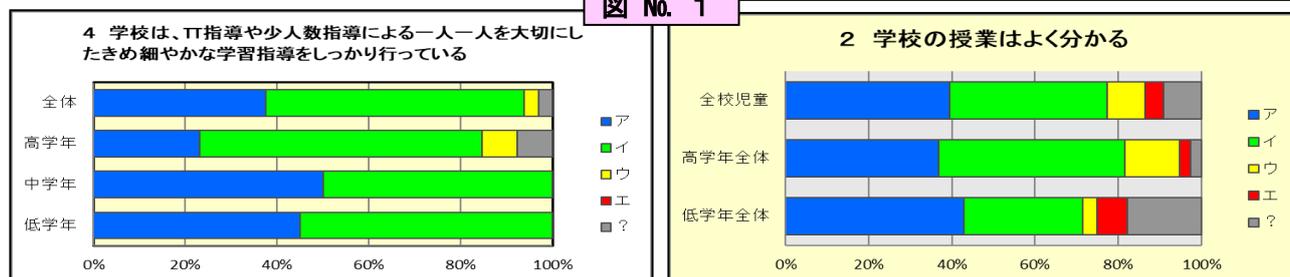


図 No. 1



ア（よく当てはまる）    イ（だいたい当てはまる）    ウ（あまり当てはまらない）  
エ（まったく当てはまらない）    ?（わからない、答えられない）

本校では、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るために、授業のユニバーサルデザイン化と学習習慣の確立に取り組んできました。また、一昨年度からは、言語活動を充実させた学習を通し、学習意欲の向上と自ら学び考える力の育成にも取り組んできました。その結果、80～90%超の保護者の皆様から肯定的な評価をいただき、その割合は昨年度より微増しています。しかし、児童の結果を見てみると、“学校の授業はよく分かる”に対して、**ア（よく当てはまる）**や**イ（だいたい当てはまる）**と答えている児童は80%弱であり、昨年度よりやや減少してしまいました。【図 No. 1】

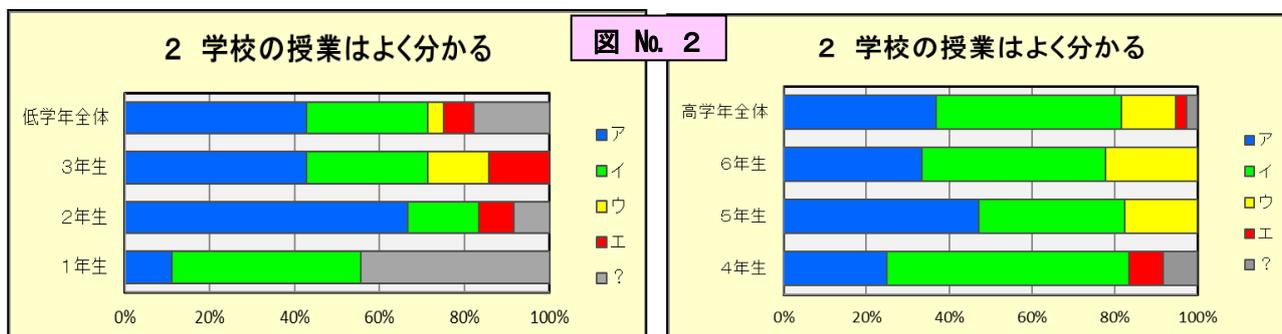


図 No. 2

学年で見ると、低学年で**ア**や**イ**と答えている児童は70%強で、昨年度より20%ほど減ってしまいました。**ウ**や**エ**と答えた児童は10%で昨年度と同じ程度でしたが、昨年度はなかった**?**（わからない、答えられない）と答えている児童が20%ほどいました。高学年では、**ア**や**イ**と答えている児童は80%強で昨年度より10%ほど増えました。引き続き、全児童がわかる授業を求めて、児童の状況に応じた手立てを考え、改善を図っていかねばいけません。【図 No. 2】

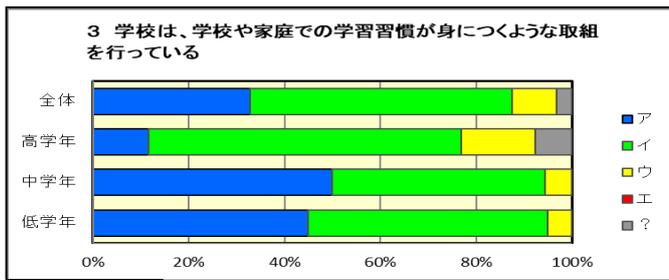


図 No. 3

“学校は、学校や家庭での学習習慣が身につくような取組を行っている”に対して、昨年度と同程度の85%ほどの保護者の皆様から肯定的な評価をいただきました。日常の家庭学習や「家庭学習の手引き」の活用、師崎中学校のテスト週間に合わせて行っている「やるぞ！勉強週間」といった取組が評価されていると考えられます。【 図 No. 3 】

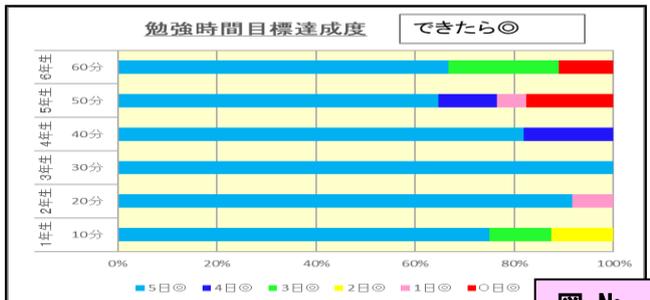


図 No. 4



「やるぞ！勉強週間」は、実施から4年目となり、今年度も学期に1回ずつ実施しています。今年度2学期の取組状況を昨年度の2学期と比べると、毎日達成できた児童の割合は「ノーテレビ目標達成度」「ノーゲーム達成度」の2つはほぼ同程度でしたが、「勉強時間目標達成度」については高くなりました。多くのご家庭でご支援・ご協力いただいたおかげです。ありがとうございました。しかし、目標時間が多い高学年での達成度はまだ低く、取組への意欲を高める必要があります。【 図 No. 4 】

また、毎月月末に行っている『漢字・算数確認テスト』はよく定着し、児童とともに保護者の皆様の意識も高くなってきています。各学年とも事前に学年だよりでテスト範囲を早めに知らせていることもあり、合格を目指して家庭でしっかり学習（復習）ができている児童が多いようです。

しかし、“子どもは、進んで家庭学習をするようになってきている”と思う保護者の皆様の割合は、昨年度よりやや高くなったものの、50%ほどしかありません。【 図 No. 5 】

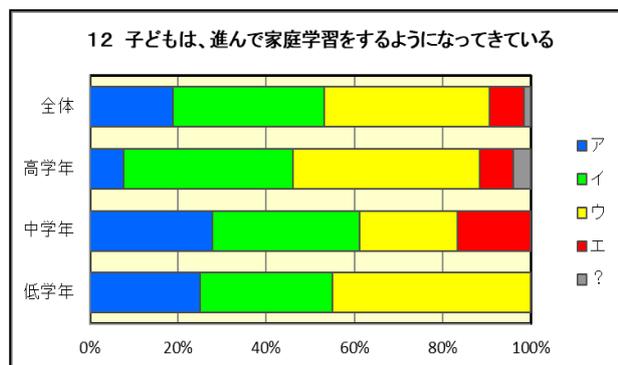


図 No. 5

『やるぞ！勉強週間』や『漢字・算数確認テスト』で見られる意欲や取組がなかなか家庭学習の習慣化につながっていないようです。その要因を探り、児童の意欲を高め、児童が主体的に学習に取り組めるよう、取組の内容や指導の方法の改善を進めていきたいと思えます。今後も、家庭と学校がよりよく連携して、家庭学習の一層の定着を進めていけるよう、ご支援・ご協力をよろしく願います。

## イ 心の教育を充実し、心身ともにたくましい児童の育成を図る。 「おおいに育ち合い」

今年度も、「笑顔・あいさつ・運動のある、活力あふれる学校づくり」をめざした取組として、校

内では、児童会が中心となって挨拶運動を推進してきました。毎学期、児童会役員が、視遠橋や昇降口に立って挨拶を交わす運動を実施してきました。挨拶運動のポスターを掲示するなど、児童会役員の積極的な取組により、明るく元気な挨拶の声が響いていました。校外では、保護者の皆様が一斉大監視日や「0の日」に交通安全運動を行う際、登校する児童に挨拶などの声かけを進んで行っていただきました。また、師崎地区小中学校連携の一環として、毎学期、師崎小学校や師崎中学校と日にちを合わせて三校合同挨拶運動を行いました。今年度は地域の方々にも大勢参加していただきました。

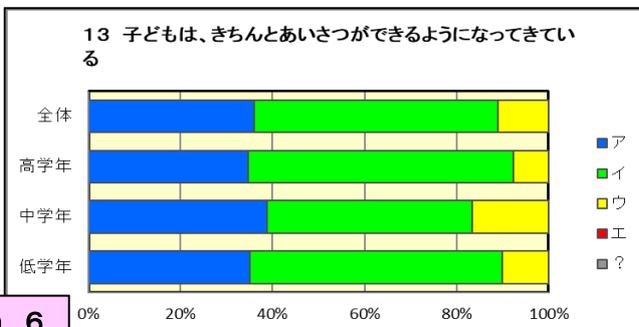
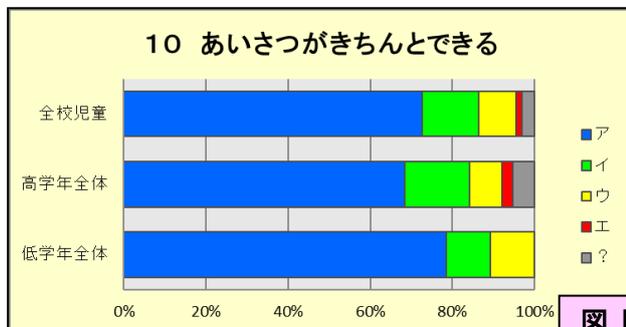
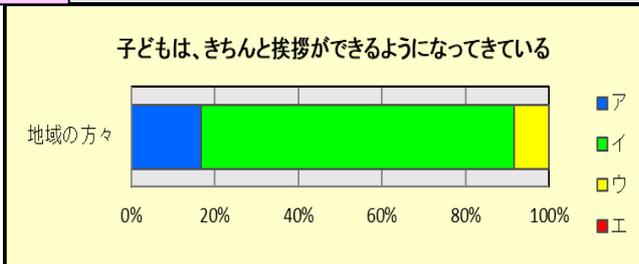


図 No. 6

以上のような取組の効果もあり、“あいさつがきちんとできる”に対して、アやイと答えている児童が全校児童の85%を超え、昨年度より5%ほど増加しました。保護者の皆様についても約85%の方が“子どもは、きちんとあいさつができるようになってきている”に対し



アやイと答えており、こちらも5%ほど増加しました。また、地域の皆様からも、昨年度と同様に90%を超える高い評価をいただきました。今後も家庭や地域の皆様と連携して、だれとでも自然に挨拶のできる児童を育てていきたいと思ひます。【 図 No. 6 】

体力づくりに関しては、昨年度よりは微減しましたが、85%近い保護者の皆様からよい評価をいただいております。今年度も、町小学校陸上大会に向けての陸上練習、その後の部活動を始め、冬季

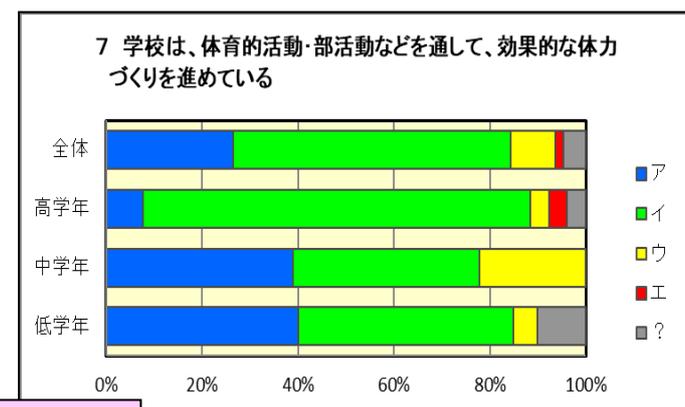


図 No. 7

のジョギングタイムや縄跳びタイムなど児童の体力づくりに向けた取組を行って来ました。児童はそれらの取組に大変意欲的に参加していました。また、大放課や昼放課には、多くの児童が運動場で元気よく遊んでいる様子が見受けられます。少人数の学校であるため、さまざまな学年と一緒に遊んでいることが多く、体力づくりだけではなく、上級生が下級生を思いやるなど豊かな心を養う場にもなっています。

なお、部活動については、以前から心配されているように、児童数の減少により同学年でチームを構成することができなくなっています。特に女子は、卓球部とバスケットボール部の2つあり、学年をまたいでもチームを構成することができない状況を迎えることが予想されます。今後も、金管バンド部も含めた部活動の在り方について保護者や地域の皆様のご意見を伺いながら、改革を進めていきたいと思ひます。【 図 No. 7 】

学校行事では、「磯の観察会」について、「地域の海にいる生き物と触れ合えてよい機会である。子どもたちも楽しんでいる。今後も続けてほしい。」、学習発表会について、「各学年、展開がよかった。子どもたちの意欲も高くなっている。」といった肯定的な意見を保護者の皆様からいただきま

した。今後も、学校や地域の特性を生かしつつ、児童の心身のよりよい成長につながる学校行事を工夫し、行っていきたくと思います。

“学校は、いじめ防止についてしっかり取り組んでいる”に対して、肯定的な評価をされた保護者の皆様の割合は、約75%で昨年度よりやや減少してしまいました。

【 図 No. 8 】

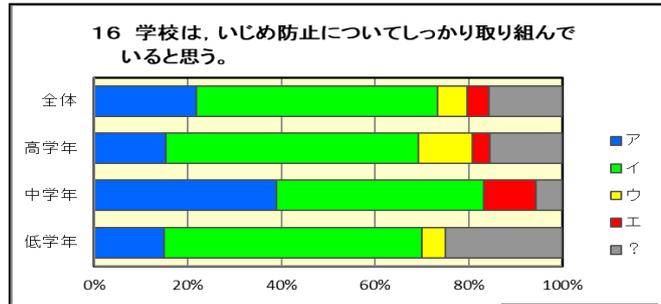


図 No. 8

学校では、毎学期、教育相談週間を設け、児童一人一人と面談をし、困っていることを相談できるようにしています。また、定期的に全児童を対象に「いじめアンケート調査」を行い、いじめの早期発見・早期対応を図っています。また、毎学期、いじめ・不登校対策委員会を開き、全教職員で情報を共有し、対応の仕方を協議し合うなど、全校体制でいじめを見逃さず、対応にあたっていくように努めています。今後も、いじめのない学校を目指して、道徳の授業や生活指導を充実させ、児童の心を育てて生きていきたくと思います。

## ウ 地域に根ざし、地域に信頼される特色ある学校づくりを推進する。 「いつも地域とともに」

今年度も、町づくり協議会・読み聞かせボランティア・老人クラブ連合会などのご協力のもとに、「地域に開かれ、地域に学ぶ教育」を積極的に進めてきました。そのことが家庭にもよく伝わっているようで、“学校は、地域の人との関わりを生かした、地域との連携を大切にした教育を行っている”に対して、100%に近い保護者の皆様から肯定的な評価をいただきました。

【 図 No. 9 】特に、地域のボランティアの方々による読み聞かせの会、町づくり協議会の方々の協力による行事は、児童も楽しみにしており、今後も続けてほしいという意見を多くいただきました。今年度からは、地域のボランティアの方々のご支援により行っていた餅つき大会とリースづくりがなくなりました。今後は、地域との連携を図った新たな教材の開発を進めていくことが喫緊の課題となっています。

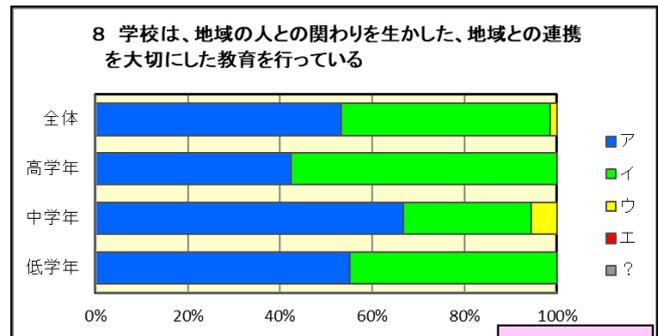


図 No. 9

## 2 今後、学校が取り組むべき課題

保護者及び地域の皆様にはご多用の中、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今年度も、皆様から数多くの建設的なご意見や学校や教職員に対する温かい励ましのお言葉をいただき、大変参考になりました。

児童数は減少傾向にあり課題が山積していますが、今後も小規模校・少人数学級のよさを生かした教育活動を充実させ、保護者や地域との連携を深め、地域に根ざした魅力ある学校づくりを進めていきたいと思っています。

今後も今回の学校教育評価をもとに、次の点に力を注ぎ、学校の改善に努めていきたいと思っています。

- 児童一人一人を大切にして、学ぶ意欲を高め、よく分かる授業を実践する。
- 笑顔・あいさつ・運動のある、活力にあふれた学校づくりを進める。
- 家庭や地域との連携を深め、児童・保護者・地域からの信頼を高める。